

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	3045	担当課等	観光課							
事務事業名	夏季行事開催事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	夏季期間にイベントを開催することにより集客効果の向上を図る。								
対象	住民及び観光客								
内容	やっさまつり、花火大会、海水浴行事を実施。やっさまつりでは、音楽隊、踊り連、神輿、花車から構成されるパレードを実施。デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)を活用し、新たな温泉資源であるクラフト温泉のPRも併せて実施している。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費		26,244,167		28,610,654		30,854,000	
	人件費	常勤職員	4,428,000		4,517,250		4,745,400	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	4,428,000		4,517,250		4,745,400	
	総事業費		30,672,167		33,127,904		35,599,400	
財源内訳	国庫支出金		10,000,000		8,250,000			
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		20,672,167		24,877,904		35,599,400	
	財源合計		30,672,167		33,127,904		35,599,400	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製			事業の周知・広報		枚	25900	25900	25500
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観覧者数			事業効果の客観的判断		人	39000	40000	35000
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	行政への申請等は町が行う必要があるが、行事内容の発想の多様性を考慮すると必ずしも町が行う必要はなく、官民共同の実行委員会で実施している。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	町の最大の祭りとして長年継承されており、地域文化の継承と観光客の誘致に一定の効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	湯河原温泉花火大会を実施することで、観客は増加しているが、パレードの観客は横ばいの傾向にある。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	住民や観光客が参加できる行事であり、受益の機会は均等である。夏季休暇中の一大行事として認識されており、町も同様に位置付け広報等をしている。
令和6年度までの自己評価または改善点	令和6年度は8月3日開催のやっさ踊りパレード(新調曲)は、前年度と比して参加団体が5団体の増であった。引き続き参加団体が増えるよう暑さ対策などをはじめ、参加しやすい環境づくりに努める必要がある。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	実行委員会に委託している。
令和7年度の見直し及び改善予定	やっさパレードの参加者及び参加団体が増えるよう働きかけが必要。 花火の打上げ場所を海上にすることにより、大きな尺玉を上げることが可能になるため、打上げ場所を海上に戻すことを検討。 海水浴場のわいわいステージについて、参加団体が増えるように運用や広報の方法を検討する必要がある。	
令和8年度以降の方向性	やっさまつりは、暑さ対策や控室の確保など参加団体が参加しやすい環境を整え、参加団体が増えるよう働きかけをする必要がある。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	【やっさまつり】参加団体が参加しやすい環境を整える。
---------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

費用対効果の検証が必要

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	3076	担当課等	観光課							
事務事業名	梅の宴行事開催事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成7年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	幕山の裾野に広がる湯河原梅林で、立春イベントとして「梅の宴」を開催することにより集客効果の向上を図る。								
対象	住民及び観光客								
内容	多種多彩なステージイベント等(芸妓の舞・和太鼓等)を企画・運営し、梅の宴として開催。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		11,006,224	14,921,713	38,780,000		
	人件費	常勤職員	1,771,200	1,806,900	4,429,040		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	1,771,200	1,806,900	4,429,040		
	総事業費		12,777,424	16,728,613	43,209,040		
財源内訳	国庫支出金		200,000	500,000	100,000		
	県支出金				281,000		
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		12,577,424	16,228,613	42,828,040		
	財源合計		12,777,424	16,728,613	43,209,040		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製			事業の周知・広報	枚	96500	61300	100000
来園者数			事業効果の客観的判断	人	47043	50942	60000
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
来園者数				人	47043	50942	60000
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	行政への申請等は町が行う必要があるが、行事の発想の多様性を考慮すると必ずしも町が行う必要性はなく、官民共同の実行委員会で実施している。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	梅の宴開催期間中には、町内の宿泊施設に宿泊した観光客のうち約6,700人が梅の宴にお越しいただいているため一定の効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	近年、入園者数が減少傾向にある。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	均等と考えている。
令和6年度までの自己評価または改善点		・園内の利便性向上のため電動車いすを貸与 ・臨時直通バス減便に伴う輸送手段の補完として、大型観光バスの借上げや職員によるハイエース運行などにより、観光客の送迎を行い輸送手段の確保を行った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	実行委員会に委託している。
令和7年度の見直し及び改善予定	・来園者数の向上を図るためSNSなどを活用したPRを行う。 ・臨時直通バス減便を考慮し、新たな輸送手段の確保が急務 ・物価高騰対策や梅林の保護育成のため入園料の改定を検討 ・梅林公園管理事業を統合	
令和8年度以降の方向性	出店者の高齢化などにより出店を辞退する団体があるため、梅の宴の趣旨に理解のある出店者を募集し、来園者の満足度の維持・向上を図る必要がある。 臨時直通バス減便を考慮し、新たな輸送手段の確保が急務。また、トイレを衛生的に保つ対策を行う。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	・臨時直通バス減便を考慮し、新たな輸送手段の確保すること。 ・梅林の保護育成のための施策を検討していくこと。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

費用対効果、受益者負担を常に検証する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	新たな輸送手段の確保を直近の課題として解消する必要がある。
---------	----------	-------------------------------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月3日

事業番号	3124	担当課等	観光課							
事務事業名	武者行列行事開催事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	1969

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	④ 歴史的・文化的 資源の発掘、活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	史実に基づき、春の観光行事として定着している武者行列を実施。								
対 象	町民・観光客								
内 容	・4月の第1日曜日に武者行列を実施 ・観光用簡易衣装の作製								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)		
	事業費		3,000,000	3,800,000		3,800,000		
	人件費	常勤職員	1,446,500	1,463,600		1,537,500		
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	1,446,500	1,463,600		1,537,500		
	総事業費		4,446,500	5,263,600		5,337,500		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源		3,000					
	一般財源		4,443,500	5,263,600		5,337,500		
	財源合計		4,446,500	5,263,600		5,337,500		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
大人侍鎧製作数			事業活動の指標となる		領	5	5	5
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる		千人	3914	4056	3800
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原の郷土史を後世に継承していくためにも、町が実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	郷土愛を育み、後世に伝える貴重な場面となっており、効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	資料の散逸を防ぎ、土肥会会員の減少に歯止めをかけ、湯河原の郷土史を伝えていくことにより、郷土愛を醸成していくことができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等と考えている。
令和6年度までの自己評価または改善点	令和2年度から大人侍の鎧及び源頼朝、土肥実平の鎧を作製。令和3年度は大人侍の鎧及び土肥遠平の鎧の作製を実施。令和4年度から3か年の計画で観光用の簡易衣装を5着ずつ作製した。		

4 見直し及び改善

評 価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	土肥会に委託
令和7年度の見直し及び改善予定	・令和7年度も湯河原町観光大使であり、地元出身の俳優 船越英一郎氏と俳優の河相我聞氏を特別ゲストに迎えて開催した。 ・地元の豪族、土肥実平と湯河原の地から再興が始まった源頼朝にあやかり、湯河原を開運の地としてPRしていく。	
令和8年度以降の方向性	・郷土の歴史を後世に伝えるべく、継続して進めていきたい。 ・令和6年度で観光用の簡易衣装(鎧)の作製が終了したため、令和7年度 から既存の鎧・衣装を5か年の計画で補修する。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	観光大使に任命した「船越英一郎」氏との桜木公園でのイベントについて、検討する必要がある。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

費用対効果を十分に検証する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	観光イベントとして、集客方法を検討する必要がある。
---------	----------	---------------------------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	3132	担当課等	観光課							
事務事業名	湯河原梅林公園管理事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成7年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	湯河原梅林公園への来園者を迎えるにあたり、きめ細やかなサービスを提供することにより、多くのリピーターを確保し更なる活性化を図る。また、マルチ決済端末を導入し料金徴収の迅速化を図り集客効果の向上を見込む。								
対象	住民及び観光客								
内容	湯河原梅林公園の開園に伴う必要な会場設備、料金徴収に伴う委託や電子マネー端末決済の導入、入園券の印刷、仮設トイレの設置等の経費。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		17,580,590	17,478,242	0		
	人件費	常勤職員	1,771,200	1,806,900	0		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	1,771,200	1,806,900	0		
	総事業費		19,351,790	19,285,142	0		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		19,351,790	19,285,142	0		
	財源合計		19,351,790	19,285,142	0		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製			事業の周知・広報	枚	96500	61300	117970
来園者数					47043	509420	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
来園者			事業効果の客観的判断	人	47043	50942	50000
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	湯河原梅林公園の開園に伴う必要な会場設備などは、町が整備する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	湯河原梅林公園への来園者を迎えるにあたり、きめ細やかなサービスを提供することにより、多くのリピーターを確保している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	立春の観光行事として、町内外で広く認知されている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	来園者が、快適かつ安全に見学ができている。
令和6年度までの自己評価または改善点	・多種多様なキャッシュレス決済が可能となるようマルチ決済端末を導入し来園者の利便性の向上を図った。 ・管理棟のトイレを衛生的に保つ必要がある。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	湯河原梅林公園の開園に伴う施設整備等のため、町が行う必要がある。料金徴収業務等については、既に委託済み。
令和7年度の見直し及び改善予定	梅の宴行事開催事業に統合	
令和8年度以降の方向性	梅の宴行事開催事業に統合	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	廃止・中止	梅の宴行事開催事業に統合
---------	-------	--------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	廃止・中止	
---------	-------	--

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	3159	担当課等	観光課							
事務事業名	もみじの郷行事開催事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成18年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	・奥湯河原池峯地区において「もみじの郷」を秋の誘客の基盤とするため、行事を開催するため。 ・行事開催に伴う宣伝及びPR事業 ・もみじの郷チラシ作製								
対象	観光客、ハイカー、もみじの郷来園者								
内容	・奥湯河原を中心とした紅葉の美しさを広く周知 ・近郊周遊型の誘致を図る								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		99,000	90,223	100,000		
	人件費	常勤職員	295,200	301,150	316,360		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	295,200	301,150	316,360		
	総事業費		394,200	391,373	416,360		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		394,200	391,373	416,360		
	財源合計		394,200	391,373	416,360		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる	千人	3914	4056	3800
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる	千人	3914	4056	3800
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	3	必要性がある。 秋の観光客の誘客に取り組むため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	2	費用対効果が得られていない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	2	成果が得られていない。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会が均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点	豪雨の影響により池峯ハイキングコース池峯橋から向かうコース途中の橋の崩落に伴う通行不可能により「奥湯河原ともみじの郷」を歩くイベントは中止とした。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	ハイキングコースの維持管理及び見頃時期の整備を行う必要があり、新たに万葉公園の玄関テラスでお茶室イベントを実施するなど、委託事業としての必要性が高い。
令和7年度の見直し及び改善予定	もみじの郷の現状(落葉の進捗状況)を把握し「奥湯河原ともみじの郷」を歩くイベントを開催する。また、SNSを活用したもみじのPRが必要	
令和8年度以降の方向性	もみじの郷のハイキングコースの維持管理及び災害に強い施設の整備を行う必要があり、新たに万葉公園の玄関テラスでお茶室イベントを実施するなど、委託事業としての必要性が高い。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	もみじの郷のPR方法の検討と比較的軽装などでも散策が可能な施設整備が必要
------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

費用対効果を検証する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	3167	担当課等	観光課							
事務事業名	宿泊促進事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成22年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	・湯河原温泉旅館協同組合が宿泊促進事業として、プレミアム付き旅館利用券を発行し、宿泊リピーターとして誘客を図る。また、湯河原温泉落語、三遊亭小遊三門会を開催し、リピーター客を確保する。								
対象	観光客、インターネット利用者								
内容	・プレミアム付き旅館利用券の発行 ・インターネットを活用したプロモーションの実施 ・湯河原温泉落語及び小遊三門会の実施								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費		14,750,109	13,569,368		7,630,000	
	人件費	常勤職員	708,480	722,760		759,264	
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	708,480	722,760		759,264	
	総事業費		15,458,589	14,292,128		8,389,264	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		15,458,589	14,292,128		8,389,264	
	財源合計		15,458,589	14,292,128		8,389,264	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる	千人	3914	4056	3800
落語イベントの来場者			観光客増加の指標となる	人	708	865	400
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる	千人	3914	4055	3800
落語イベントの来場者			観光客増加の指標となる	人	708	865	400

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	必要性がある。 観光客のニーズを把握することができる。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	費用対効果が得られている。 観光客のニーズを把握することができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	成果が得られている。 観光客のニーズを把握することができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会が均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点	落語イベントの観客数が増となっているものの、日帰り客が宿泊客に移行するように取り組む。また、来場者数が向上するようにSNS等を活用したPRを実施する必要がある。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉旅館協同組合へ委託済み
令和7年度の見直し及び改善予定	・宿泊客を増やすための効果的かつ適切なタイミングで、インターネットなどによるプロモーションを実施。 ・湯河原温泉落語の実施及び小遊三門会を実施	
令和8年度以降の方向性	ウィズコロナにおける観光ニーズを捉え、観光客の滞在時間が延伸するよう本町の観光振興推進のため、継続して実施する必要がある。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげていくこと。
---------	----------	-----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

費用対効果を検証する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和7年度事務事業評価シート

事業番号	3534	担当課等	観光課							
事務事業名	地域振興事業補助金									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	2	目	2	事業開始年度	平成21年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 商工業関連団体 間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	商店街が行う事業のうち観光振興に特に寄与する事業に補助するもの。								
対 象	地域商店街								
内 容	次の事業等に対して補助を行う。 ・温泉場商店会が開催する「灯りの祭典」 ・星空教室								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)		
	事業費		600,000	600,000	600,000			
	人件費	常勤職員	68,560	75,288	63,272			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	68,560	75,288	63,272			
	総事業費		668,560	675,288	663,272			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		668,560	675,288	663,272			
	財源合計		668,560	675,288	663,272			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
商工会会員数			補助対象		人	888	840	850
補助団体数			補助実績		団体	9	9	9
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
灯りの祭典来場者数			地域振興		人	0	800	1000
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	星空教室や竹明かりイベントなど湯河原らしい取り組みであり、また商工会まつりへの出店など、地域産業の活性化に必要な取り組みである。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	星空教室や竹明かりイベントなど湯河原らしい取り組みであり、また商工会まつりへの出店など、独自性が高い。
類 似 性	他事業との類似はないか	5	星空教室や灯りの祭典など湯河原らしい取り組みであり、また商工会まつりへの出店など、地域産業の活性化に有効な取り組みである。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	星空教室や灯りの祭典など湯河原らしい取り組みであり、また商工会まつりへの出店など、地域産業の活性化に有効な取り組みである。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。

令和6年度までの自己評価または改善点	地域振興に寄与している
--------------------	-------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和7年度の見直し及び改善予定	星空教室や灯りの祭典の実施、かながわ商工祭りへの参加など引き続き地域振興を推進していく。	
令和8年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	商店街等の自主性を大切にしたいうえで協力していく。
---------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

補助金の妥当性を常に検証していく必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	PRを充実していくことを検討する必要がある。
---------	----------	------------------------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	3220	担当課等	観光課							
事務事業名	さつきの郷誘客事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成15年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	四季彩のまちを具現化する場所の一つとして、さつきの郷の開花に合わせ、誘客を図るもの。								
対 象	観光客								
内 容	星ヶ山公園さつきの郷観光宣伝チラシの作成をする。 星ヶ山公園さつきの郷行事期間中の交通整理員等の委託業務。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		1,871,370	1,444,850	922,000		
	人件費	常勤職員	1,476,000	1,505,750	1,581,800		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	1,476,000	1,505,750	1,581,800		
	総事業費		3,347,370	2,950,600	2,503,800		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		3,347,370	2,950,600	2,503,800		
	財源合計		3,347,370	2,950,600	2,503,800		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
チラシ配布数			広報	部	4000	4000	5000
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
来場者数			観光客の誘致	人	3730	4274	1730
自家用車台数			観光客の誘致	台	984	1086	803

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	観光客を誘致し、観光振興の発展に寄与しているため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	さつきの郷には、町内外から来場されており、一定の集客につながっている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	地場産品の販売、消費拡大など一定の観光振興につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点		園内イベントを実施し来園者が楽しめる工夫を行った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	交通整理等については、既に委託済み
令和7年度の見直し及び改善予定	期間内にイベントを実施する。また、SNSによるPRなど来園者数を増やす取組が必要	
令和8年度以降の方向性	- 交通アクセスが悪いため週末のバス増便の検討が必要 - 四季彩のまちを具現化する場所として、眺望も良く、湯河原町にとって貴重な観光資源である「さつきの郷」をSNSを利用し開花情報をリアルタイムで発信するなど、効果的なPR方法について検討する。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	イベントのPRやアクセス方法を検討する必要がある。
---------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

費用対効果を検証する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和7年度事務事業評価シート

事業番号	3556	担当課等	観光課							
事務事業名	駅周辺活性化プロジェクト事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	2	目	2	事業開始年度	平成28年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① 商工業関連団体 間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	地域商工業の活性化を図る。								
対 象	町内商工業者								
内 容	地域商工業の活性化を図るため、次の事業に助成金を交付する。 駅周辺が一体化となって活性化し、駅周辺の賑わいの創出を図る必要があること から、ぶらん市を開催している駅前通り明店街へ補助金を交付するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)		
	事業費		1,680,000	1,000,000		1,000,000		
	人件費	常勤職員	68,560	60,230		36,272		
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	68,560	60,230		36,272		
	総事業費		1,748,560	1,060,230		1,036,272		
財源内訳	国庫支出金		980,000			350,000		
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		768,560	1,060,230		686,272		
	財源合計		1,748,560	1,060,230		1,036,272		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
商工会会員数			補助対象		人	888	840	850
補助団体数			補助実績		団体	9	9	9
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
ぶらん市来場者数			地位産業の振興		人	7000	4500	5000
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	観光客誘致事業など観光振興の発展に資するため町で行う必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	イベントには町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。 また、参加店の活性化が図られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	産業、工業の地域振興につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点		地域消費と観光誘客を促進するため「ぶらん市」を3回開催し、川崎市モストミブレーメン商店街のステージイベントを実施するなど、多くの誘客につながった。 また、駅前ツリー設置事業については、湯河原らしい和のツリーと湯桶をモチーフにしたモニュメントを設置した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和7年度の見直し及び改善予定	川崎市モストミブレーメン商店街と連携協定を結んだことで、双方の商店街イベントに相乗効果を持たせ、より魅力ある「ぶらん市」となるよう改善していく。 駅前ツリー設置事業については、湯河原らしい趣向を凝らしたツリーを設置する。	
令和8年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き継ぎ助成したい。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	ぶらん市以外の駅周辺活性化を検討すること。
---------	----------	-----------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

補助金の妥当性を常に検証していく必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月3日

事業番号	3433	担当課等	観光課							
事務事業名	こごめの湯運営事務経費									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	7	事業開始年度	平成20年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	② 観光施設の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	・指定管理制度による施設の運営。 ・指定管理者との協議により、計画的な修繕を行う								
対 象	施設利用者								
内 容	施設の維持管理修繕								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		12,236,548	13,546,044	14,226,000		
	人件費	常勤職員	1,446,500	1,463,600	1,537,500		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	1,446,500	1,463,600	1,537,500		
	総事業費		13,683,048	15,009,644	15,763,500		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		13,683,048	15,009,644	15,763,500		
	財源合計		13,683,048	15,009,644	15,763,500		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
入館者数			事業効果の客観的判断	人	70694	73334	70000
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる	千人	3914	4056	3800
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	公の施設であるこごめの湯は、町が整備する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	施設修繕を行うことにより、施設のイメージアップを図ることを目的としているが、老朽化が激しいため、修繕箇所が多い。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	単年度では修繕が追いつかないため、複数年での修繕計画が必要とされる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	施設利用者の一人ひとりが快適に利用していただけていると考えている。
令和6年度までの自己評価または改善点		・明治安田生命との合同健活イベントの開催 ・食堂券売機の新紙幣対応切り替えを実施 ・まち歩き企画「湯探歩」への参加 ・回数券の値引き販売の実施	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	指定管理導入済み
令和7年度の見直し及び改善予定	・来客増加のための取り組みの検討。 ・キャッシュレス導入の検討	
令和8年度以降の方向性	・安全・安心に施設を利用していただくため、指定管理者と協議しながら継続したい。 ・施設の今後のあり方について検討する必要がある。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	温泉場区への売却を含めて今後の検討をする
---------	----------	----------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

施設の在り方を検討する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

事業番号	3542	担当課等	観光課							
事務事業名	made in ゆがわら認定事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	2	目	2	事業開始年度	平成28年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	③ 名物料理・商品の 開拓				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○						
目 的	湯河原町の地域資源を活用し、湯河原ブランドの確立により町のイメージアップと産業振興を図り、町経済の活性化を目指す。								
対 象	地域事業者 観光客								
内 容	「made in ゆがわら」としてブランド認定するための委員会の運営。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		202,164	418,720	249,000		
	人件費	常勤職員	342,800	451,730	474,540		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	342,800	451,730	474,540		
	総事業費		544,964	870,450	723,540		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		544,964	870,450	723,540		
	財源合計		544,964	870,450	723,540		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
委員会開催回数			新規及び継続、ふるさと納税返礼品審査など	回	2	2	2
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
made inゆがわら認定品数			産業の振興・活性化	件	25	29	30
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原ブランドの確立により町のイメージアップを図るため必要である。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	町内外の方への消費拡大につながる。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	湯河原町の産業振興、活性化を目指す。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点		「湯河原らしさ」について、観光アドバイザー政所利子先生のアドバイスをいただきながら議論し、令和6年度は7件の新規認定を加え、廃業などを差し引き29品目認定中。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	本来であれば商工会が主体となって行う事業であると考える。
令和7年度の見直し及び改善予定	令和6年度は7件の新規認定を加え、廃業などを差し引き29品目認定中。 令和7年度はふるさと納税返礼品新たな認定品を募集するとともに、第2回認定品の認定期限を迎えるため、継続の意思確認を実施する。	
令和8年度以降の方向性	令和6年度で新たに7品目が認定され、併せて、廃業などにより3品目を除外し、29品目が認定されている。PRや、販路の確保・拡大などについて推進を図る。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	町内において、「made in ゆがわら」の認知度を上げることを商工会と進めること。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

ふるさと納税返礼品としての活用、周知を図る必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	12884	担当課等	観光課							
事務事業名	観光情報発信事業									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	平成29年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の発信				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	本当に求められる地域の情報、魅力ある観光情報を町内外へ発信し、誘客を図る。								
対象	町民・観光客								
内容	湯河原温泉に宿泊した方などを対象とした季刊情報などのDMの発信 湯河原散策マップ等の発行								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)		
	事業費		5,319,200	6,999,000		5,853,000		
	人件費	常勤職員	295,200	301,150		474,540		
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	295,200	301,150		474,540		
	総事業費		5,614,400	7,300,150		6,327,540		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		5,614,400	7,300,150		6,327,540		
	財源合計		5,614,400	7,300,150		6,327,540		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
フリーペーパーの発行			事業活動の指標となる		部	51000	38800	60000
湯河原だよりの発行			事業活動の指標となる		回	4	4	4
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる		千人	3914	4056	3800
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	観光客への周知・イベント会場での配布など、「湯河原町」をアピールするチラシ・パンフレットは町が作製する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	パンフレット配布により、受領者が湯河原を訪れる行程あるいは散策できる施設の紹介に対応ができるため、費用に見合った効果が得られる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	本町の観光客にはシニア層が多いことから、イベント開催内容やハイキングコースの案内など、紙媒体によるPRは有効的で一定の成果が得られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	湯河原を訪れる計画を立てる目的として、受益の機会が均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点		湯河原温泉に宿泊した方などを対象とした顧客名簿の収集	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉に宿泊した方などを対象とした季刊情報などのDMの発信を委託済み
令和7年度の見直し及び改善予定	湯河原温泉に宿泊した方などを対象とした季刊情報などのDMの発信を実施	
令和8年度以降の方向性	ラーメンマップ、パンマップ、日帰り温泉マップなど観光客が必要とするテーマ別チラシを作成し、湯河原温泉に宿泊した方などを対象とした季刊情報などの発信を行う。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して行うことにより本町の魅力をより深く伝えることが可能となる。また、より多くの方に情報を届ける必要があるため、紙媒体以外の情報発信の方法の検討が必要。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

事業統合も含め、検証が必要。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	3257	担当課等	観光課							
事務事業名	ロケツーリズム推進事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の発信				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	湯河原町内で行われる映画、テレビドラマ等の円滑なロケ撮影を支援し、美しい自然景観、歴史、文化、街並みなど湯河原の魅力を映像を通じてより多くの人々に発信することにより、観光振興、地域振興並びに地域経済の活性化を推進し、まちへの愛着が深まることを目指すもの。								
対象	住民及び観光客								
内容	・ロケを経済三団体と組織的に誘致するため、窓口をワンストップ化している。 ・映像制作者向ロケ地検索サイト「ロケなび!」、ロケ情報誌「ロケーションジャパン」へ掲載 ・HPや広報紙等でエキストラ、ロケ地登録の実施								

2 実施結果

(単位 円)

区分	事業費	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
コスト	人件費	1,180,800		1,204,600		1,581,800	
	会計年度任用職員等						
	人件費合計	1,180,800		1,204,600		1,581,800	
	総事業費	8,204,800		8,428,600		8,631,800	
財源内訳	国庫支出金	2,267,000		3,500,000		3,400,000	
	県支出金					1,911,000	
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	5,937,800		4,928,600		3,320,800	
	財源合計	8,204,800		8,428,600		8,631,800	
活動指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
ロケ実績		事業実績の指標となる		件	34	43	35
					0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
広告換算効果		事業実績の指標となる		千円	978690	781600	500000
観光入込数(日帰り・宿泊計)		観光客増加の指標となる		千人	3914	4056	3800

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	町を挙げてロケツーリズムに取り組む姿勢が番組制作者にも良い印象を与え、業界内での評価も高くなることから、必要性は高い。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	番組の評価に直結はするものの、人気番組と連動した場合は、ロケ地への高い経済効果が期待できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	ワンストップ窓口で情報を集約し、番組制作者と町内の施設や事業者とマッチングすることができるため有効性は高い。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	番組制作者の意向が重視され、町内の施設や事業者の受益のバランスについて、番組制作者と調整をする必要がある。
令和6年度までの自己評価または改善点		ロケ地の検討については官民で連携し、多様なロケ地を検討する体制を構築することができた。また、湯河原中学校で撮影を行った際には、多くの学生などがエキストラとして参加し郷土愛醸成の一助となった。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	・ワンストップ窓口の設置により、ロケの受け入れを組織的に対応出来ているため。 ・セミナー、ロケなび、ロケーションジャパンについては委託。
令和7年度の見直し及び改善予定		・経済三団体と密に情報共有し親切的なロケ対応を実施 ・ロケ専用HPの充実及びロケ実績の効果的な活用方法を検討 ・エキストラやロケ地登録が増えるようSNSなどにより情報発信をする。
令和8年度以降の方向性		・ロケ実績を見える化し、有効的に活用し観光誘客に繋げる。 ・町民参加を促し郷土愛の醸成により地域活性化を図る。

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	エキストラ及びロケ地登録数の向上を図るとともに、実績活用やPR方法の検討が必要
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

費用対効果を常に検証する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	3166	担当課等	観光課						
事務事業名	梅基金積立金								
予算科目コード	会計		款		項		目	事業開始年度	平成7年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	①イベントの充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	湯河原梅林の保護育成・整備事業の財源とするための積立金。								
対 象	町民・観光客								
内 容	梅の宴行事開催中、募金箱を設置し、寄付を募り、湯河原梅林の保護・育成に活用している。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)		
	事業費		156,155	237,270	200,000			
	人件費	常勤職員	29,520	30,115	94,908			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	29,520	30,115	94,908			
	総事業費		185,675	267,385	294,908			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		185,675	267,385	294,908			
	財源合計		185,675	267,385	294,908			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
募金箱設置日数			事業活動の指標となる		日	37	37	37
梅基金寄付金			事業活動の指標となる		円	156155	237270	300000
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
募金箱設置日数			事業活動の指標となる		日	37	37	37
梅基金寄付金			事業活動の指標となる		円	156155	237270	300000

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原梅林という貴重な共有財産を次世代に引き継ぐためにも、町が実施する必要と責任がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	3	梅林来場者による湯河原梅林への寄付金を基金として積み立てるもので、歳入歳出は同額となる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	梅の宴の来場者数と比例するため、来場者が少ないと成果が低いと思われる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点		入園者数と比例し前年度と比して募金額が増となっているが、募金額を増やすための工夫が必要	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町募金であるため。
令和7年度の見直し及び改善予定	設置場所の工夫や募金箱の数を増やすことを検討	
令和8年度以降の方向性	梅PPV(ウメ輪紋ウイルス)対策の観点からも、湯河原梅林という貴重な共有財産を次世代に引き継ぐためにも、継続して実施する必要がある。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	設置場所の工夫や募金箱の数を増やすなどの対応が必要
---------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

一次評価と同様

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

事業番号	10921	担当課等	観光課					
事務事業名	ゆがわらフェス補助事業							
予算科目コード	会計		款		項	目	事業開始年度	令和6年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	①イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	湯河原の魅力をより多くの人に知ってもらうことを目的に、湯河原商工＆旅組青年部共同企画運営実行委員会と町とで共同開催し、湯河原の特色をいかしたイベントを開催するもの。								
対 象	観光客、町民								
内 容	湯河原の特色をいかしたイベントを開催								

2 実施結果

(単位 円)

区分	事業費	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
コスト	人件費	常勤職員	29,763	301,150	316,360		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	29,763	301,150	316,360		
		総事業費	3,529,763	4,801,150	4,816,360		
財源内訳	国庫支出金				2,250,000		
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	3,529,763	4,801,150	2,566,360			
	財源合計	3,529,763	4,801,150	4,816,360			
活動指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
来場者数		地域産業の振興		人	0	8000	10000
					0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	観光誘客に繋がる取組みであるため、町が実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	イベントには町内外の方が多く来場し、誘客と消費拡大につながっている。 また、参加店の活性化が図られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	観光誘客に繋がっている。また、地域消費が促進されている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点	令和5年度まではハロウィンイベントを実施してきたが、令和6年度からは方向性を変更し、より一層の観光誘客と地域消費に向けた取組みに発展している。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業として実施している。
令和7年度の見直し及び改善予定	特産品の開発について、味の向上や若者に反響のある見た目とするなど工夫していく。	
令和8年度以降の方向性	今年度の取組みを踏まえ、次年度により良い取組みとなるよう検証し、ブラッシュアップしていく。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き、地域産業の振興・活性化のために取組みを継続していく。
---------	----------	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

補助金の妥当性を検証する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月3日

事業番号	3049	担当課等	観光課							
事務事業名	海水浴場運営事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	② 観光施設の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	海水浴場を開設し、湯河原の夏の魅力をPRする。								
対 象	観光客・町民								
内 容	海水浴場の開設								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費		13,678,957		14,953,194		18,547,000	
	人件費	常勤職員	1,446,500		1,463,600		1,537,500	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	1,446,500		1,463,600		1,537,500	
	総事業費		15,125,457		16,416,794		20,084,500	
財源内訳	国庫支出金		13,678,957					
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源				14,953,194		18,547,000	
	一般財源		1,446,500		1,463,600		1,537,500	
	財源合計		15,125,457		16,416,794		20,084,500	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
海水浴場営業日数			事業実績の指標となる		日	48	50	50
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる		千	3914	4056	3800
海水浴場客数			事業実績の指標となる		人	41940	51000	45000

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	海水浴場の安全・安心を確保するためにも、町が実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	海水浴場の安全・安心が確保されており、効果が得られていると考えている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	海水浴場の安全・安心が確保され、家族連れなども安心して楽しめる海水浴場となっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等と考えている。
令和6年度までの自己評価または改善点		海水浴場警備本部の看板の修繕及び、安全管理のための巡視などを実施。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	海水浴場の開設については、安全管理上から町が実施したい。監視業務については委託済み。
令和7年度の見直し及び改善予定	令和5年5月から新型コロナウイルスが第5類に分類され、行動の制限が緩和されたが、感染症対策を行いながら例年通りの開設になった。	
令和8年度以降の方向性	夏の集客の1つとして、来場者が安全安心に楽しんでもいただける海水浴場を目指して監視・救助業務を実施、引き続き湯河原海水浴場組合の協力をいただきながら、海水浴場の運営を行っていききたい。 JLA認定海水浴場の継続認定を受ける事が出来たので、湯河原海岸の安全性を広くアピールしていきたい。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	湯河原の夏の魅力を発信するうえで、更なる海水浴場のPR方法を検討する必要がある。 来場客数の推移についての分析と、さらなる集客の対策について検討する必要がある。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

吉浜海岸の活用方法を検討する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月3日

事業番号	9991	担当課等	観光課							
事務事業名	万葉公園管理経費									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	5	事業開始年度	2021

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	② 観光施設の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	・指定管理制度による施設の運営 ・指定管理者との協議により、計画的な修繕を行う。								
対 象	施設利用者								
内 容	施設の維持管理修繕								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)		
	事業費		43,072,112	43,657,033	42,674,000			
	人件費	常勤職員	1,446,500	1,463,600	1,537,500			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	1,446,500	1,463,600	1,537,500			
	総事業費		44,518,612	45,120,633	44,211,500			
財源内訳	国庫支出金		10,275,000					
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		34,243,612	45,120,633	44,211,500			
	財源合計		44,518,612	45,120,633	44,211,500			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
湯河原惣湯利用者数			事業効果の客観的判断		人	44736	52303	50000
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる		千人	3914	4056	3800
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	万葉公園については公の施設であるため、町が整備する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	公園内の景観を良い状態で保つことにより、更なる集客が見込まれる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	景観の維持には継続的な整備が必要になるため、有効性は高い。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	施設利用者の一人ひとりに快適に利用していただけていると考えている。
令和6年度までの自己評価または改善点		・Park-PFI制度を利用した万葉公園の再整備。 ・リニューアルした施設でのコワーキングスペース等の実施	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	施設修繕等の計画やPR方法の検討
令和7年度の見直し及び改善予定	・来客増加の為の新たな取り組みの検討。 ・公園内の景観の維持	
令和8年度以降の方向性	公園施設内を安心・安全に散策していただくために指定管理者と協議を行いながら、継続をしていきたい。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	イベントの充実や来客増加の方法を検討する必要がある。
------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

指定管理料について常に協議が必要。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	3174	担当課等	観光課							
事務事業名	観光立町推進事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成24年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	⑥ 万葉荘の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	・平成24年6月に策定した湯河原町観光立町推進計画に基づき、観光立町の実現に向けた施策の推進 ・観光大使及びゆたぼんファイブがイベント等に出演する委託料を計上。								
対象	観光客、観光大使、観光立町推進計画委員等								
内容	伝統芸能伝承事業 万葉荘運営事業者評価委員会 観光大使による観光宣伝 ゆたぼんイベント出演								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費		12,844,294		6,737,656		13,111,000	
	人件費	常勤職員	738,000		752,875		1,581,800	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	738,000		752,875		1,581,800	
	総事業費		13,582,294		7,490,531		14,692,800	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		13,582,294		7,490,531		14,692,800	
	財源合計		13,582,294		7,490,531		14,692,800	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
ゆたぼんファイブのイベント出演			事業活動の指標となる。		回	17	24	20
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる		千人	3914	4056	3800
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	県から万葉荘を取得し、万葉荘の営業を存続する事業は、町以外において実施することができない。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	効果検証は難しいが、約2万人の宿泊者を確保していることは、一定の効果が得られていると考える。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	かつて閉鎖となる予定であった万葉荘を県から取得し、年間約2万人の宿泊者を確保していることは一定の成果を得ていると考える。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町内各種団体及び公募による委員をもって構成する観光立町推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会は均等であると考え。
令和6年度までの自己評価または改善点		観光立町を推進するため、ほたるの郷推進事業補助金などを補助。また、コロナが落ち着き、町内外をはじめイベントが多く開催されたことに伴ない、ゆたぼんファイブの出演が増えた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	ゆたぼんのイベント出演等を委託済み
令和7年度の見直し及び改善予定	第2期観光立町推進計画の推進及び計画の改定 ゆたぼんファイブ着ぐるみのクリーニング	
令和8年度以降の方向性	第3期観光立町推進計画に基づく観光振興の推進	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	第3期湯河原町観光立町推進計画に基づき実行していくこと。
---------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

実効的な計画を策定する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	観光大使、ゆたぼんの活用方法を検討する必要がある。
---------	----------	---------------------------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	14739	担当課等	観光課					
事務事業名	コキアの郷づくり事業							
予算科目コード	会計		款		項	目	事業開始年度	令和4年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	①イベントの充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	四季彩のまち湯河原を具現化するため、将来の観光資源となるよう星ヶ山公園に コキアの郷を整備するもの。 また、町民(コキアサポーター)を巻き込んだ取組にしていく。								
対 象	住民及び観光客								
内 容	星ヶ山公園にコキアの植栽地を整備するとともに、コキアサポーターの活動に必要な 用品を整備する。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)		
	事業費		13,184,239	24,925,820	8,000,000			
	人件費	常勤職員	1,771,200	2,409,200	3,796,320			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	1,771,200	2,409,200	3,796,320			
	総事業費		14,955,439	27,335,020	11,796,320			
財源内訳	国庫支出金		6,125,255	12,148,096	4,000,000			
	県支出金		3,660,000	7,634,000	2,248,000			
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		5,170,184	7,552,924	5,548,320			
	財源合計		14,955,439	27,335,020	11,796,320			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
サポーターの登録数			事業の周知・広報		人	73	77	50
チラシの配布数			広報		部	0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
来園者数			事業効果の客観的判断		人	313	214	500
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町民(コキアサポーター)を巻き込んだ取り組みにしていける必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	3	「四季彩のまち湯河原」を担う将来の観光資源となるよう整備を進めていく。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	町民(コキアサポーター)を巻き込むことにより郷土愛を育む一助とする。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	均等と考えている。
令和6年度までの自己評価または改善点		既存の植栽地におけるコキアの育成、管理方法の研究が必要。また、新たにコキアの植栽地を整備した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	実行委員会を組織し委託
令和7年度の見直し及び改善予定	・コキアが十分に育つよう育成、管理方法の研究が必要 ・サポーターの登録数が増えるよう広報の方法を検討 ・活動の見える化をし、サポーター活動を活性化する。	
令和8年度以降の方向性	・コキアが十分に育つよう育成、管理方法の研究が必要。 ・新たに整備した土地について、具体的な方向性を決める必要がある。 ・サポーターの役割を明確化する必要がある。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(拡大)	まずは、コキアが十分に育つよう育成、管理方法を研究する。また、職員で行う業務、委託する業務、サポーターの関わり方などの整理をすること。
---------	--------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

十分な育成を図った上で、費用対効果を検証する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(拡大)	一次評価と同様
---------	--------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	3116	担当課等	観光課						
事務事業名	誘客宣伝事業								
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(3) 観光情報発信の 活性化、観光宣 伝の強化	⑤ 湯河原温泉の個 性化・情報発信				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	・オンライントラベルエージェントを活用したPRで観光誘導を図る。								
対 象	観光客								
内 容	・オンライントラベルエージェント(リクルート、楽天トラベル等)を活用したPR								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費		10,100,000		10,070,000		8,950,000	
	人件費	常勤職員	590,400		602,300		790,900	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	590,400		602,300		790,900	
	総事業費		10,690,400		10,672,300		9,740,900	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金						4,523,000	
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		10,690,400		10,672,300		5,217,900	
	財源合計		10,690,400		10,672,300		9,740,900	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
誘客キャラバン数			誘客宣伝		回	3	4	3
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			観光客増加の指標となる		千人	3914	4056	3800
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	観光を基幹産業とする本町において、町と連携して事業を実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	オンライントラベルエージェントの活用や誘客キャラバンの実施により、誘客が図られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	オンライントラベルエージェントの活用や誘客キャラバンの実施により、誘客が図られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等と考える。
令和6年度までの自己評価または改善点		インターネットのアクセス数、エリア別の観光客数、年齢層などを解析し具体的な戦略を検討する。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	委託にて実施済み
令和7年度の見直し及び改善予定	・オンライントラベルエージェントの特集ページの作成やクーポン付き宿泊プランの販売 ・本町のメインターゲットである首都圏において、効果的なキャラバンを実施する。 ・一定の成果が出たことから、箱根駅伝往路ゴール付近でのキャラバンを廃止する。 ・観光アドバイザー・プロモーション事業を統合	
令和8年度以降の方向性	・引き続きオンライントラベルエージェント及びキャラバンによる誘客を図る。 ・各種イベントの深化を図るため、アドバイザーに助言を基に実施していく。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげる。
---------	----------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

実施主体を整理する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	3230	担当課等	観光課							
事務事業名	観光アドバイザー・プロモーション事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成27年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(3) 観光情報発信の 活性化、観光宣 伝の強化	⑤ 観光アドバイザー の活用
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー
	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源
目 的	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし	
	観光の振興につながる新分野進出・新事業展開やインバウンド事業の推進などについて専門的な知識を持つ観光アドバイザーからの適切かつ有効な指導、助言を受ける。多種多様なメディアに対して働きかけ、本町の情報発信の拡充を図る。町の魅力を伝えられる写真や映像のデータベース化を図る。				
	対 象				
内 容	- 観光アドバイザーの設置 - 観光プロモーション活動の実施 - 湯河原観光のポータルサイトの立ち上げ、町の魅力を伝えられる写真や映像のデータベース化・明治大学と連携し、町の魅力の検討や発信を実施				

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費		2,371,469		0	
コスト	人件費	常勤職員	738,000	752,875	0	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	738,000	752,875	0	
	総事業費		3,738,000	3,124,344	0	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		3,738,000	3,124,344	0	
	財源合計		3,738,000	3,124,344	0	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
アドバイザーとの意見交換・講演等		アドバイザーの出席回数	回	2	4	2
プロモーション撮影		動画・静止画等の撮影	回	1	1	3
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		観光客増加の指標となる	千人	3914	4056	3800
				0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が本事業を実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	観光振興につながる新事業をはじめインバウンド対策の適切な助言を得ることができ、継続して実施することにより、観光客増につなげる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	町の魅力を伝えられる写真や映像のデータベース化が図られ、プロモーションビデオも完成することができた。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	観光事業者のみならず町内各種団体及び公募による委員をもって構成する観光立町推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会は均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点	・観光アドバイザー政所利子先生に観光立町推進会議及びmade in湯河原認定審査会に出席いただき、観光施策の方向性や第2期観光立町推進計画の進捗状況、第3期認定審査会及びふるさと納税返礼品についてアドバイスをいただいた。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉観光協会へ委託済み
令和7年度の見直し及び改善予定	誘客宣伝事業に統合	
令和8年度以降の方向性	誘客宣伝事業に統合	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	各種アドバイザーを効果的に活用すること。
---------	----------	----------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

費用対効果の検証が必要

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	3234	担当課等	観光課							
事務事業名	インバウンド情報発信推進事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	平成27年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(3) 観光情報発信の 活性化、観光宣 伝の強化	⑥ インバウンドの情報 発信				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	湯河原町を訪れる外国人観光客に対するホスピタリティ等の向上を図るため、外国語パンフレット及びホームページの運営。ウィズコロナ時代を見据えたインバウンド需要の獲得のためターゲットを絞り実施するもの								
対象	外国人観光客または湯河原町を訪れようとする外国人観光客								
内容	・外国人向けホームページの管理・運営 ・インフルエンサーによる台湾への情報発信 ・おもてなし英会話講座の開催 ・在日外国人に向けた情報発信								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	738,000		752,870		1,107,260
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	738,000		752,870		1,107,260
	総事業費	1,679,056		1,651,835		2,607,260
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,679,056		1,651,835		2,607,260
	財源合計	1,679,056		1,651,835		2,607,260
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
おもてなし英会話講座の開催回数		事業実績の指標となる	回	2	0	3
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		観光客増加の指標となる	千人	3914	4056	3800
おもてなし英会話講座の参加者		事業活動の指標となる	人	29	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が本事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	インバウンド事業の推進に適切かつ有効な手段となっていると思われる。継続して事業を実施することにより、観光客増につなげたい。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	ウィズコロナにおけるインバウンド需要を見据え、湯河原温泉の情報を外国人観光客により強力に発信していく必要があり、その一助となっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町内各種団体及び公募による委員で構成するインバウンド情報発信推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会は均等であると考え。
令和6年度までの自己評価または改善点	インバウンド需要獲得のため、湯河原町の繋字体Facebookのファンページ投稿及び英語版HPの運用を行うとともに、ターゲットを台湾に絞りインフルエンサーによるPR動画の撮影を行った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉観光協会に委託済み
令和7年度の見直し及び改善予定	インバウンドの戦略策定、ターゲット選定及び施策立案を行うための知見を有した外部専門会社に中心的な役割を依頼するまた、平日の集客や観光消費額を増やすことを目的にインバウンド事業を推進していく。	
令和8年度以降の方向性	インバウンド戦略に基づき平日の集客や観光消費額を増やすことを目的にインバウンド事業を推進していく。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	ウィズコロナを見据えたインバウンド需要獲得のため、インバウンド戦略策定、ターゲット選定、施策立案を行うこと。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

湯河原らしいインバウンド対応を検討する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(拡大)	湯河原らしいインバウンド対応を検討する必要がある。
------	--------	---------------------------

令和7年度事務事業評価シート

2025/09/03

事業番号	13675	担当課等	観光課							
事務事業名	事業発展支援事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	2	目	2	事業開始年度	令和4年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	3 商業・サービス業	(1) 商業基盤の整備	②経営者研修会の開催				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	町内の創業ニーズを掘り起こし、伴走型の創業支援及び販売チャンネル拡大に向けた取組みを実施する。								
対象	町内の事業者及び町内で創業を考えている個人事業主など								
内容	創業支援セミナー、伴走型支援、販売チャンネルの拡大に向けた取組みの実施								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		3,300,000	2,997,500	1,188,000		
	人件費	常勤職員	297,630	301,150	316,360		
		会計年度任用職員等	0				
		人件費合計	297,630	301,150	316,360		
	総事業費		3,597,630	3,298,650	1,504,360		
財源内訳	国庫支出金		1,650,000	1,498,750			
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他特定財源		0				
	一般財源		1,947,630	1,799,900	1,504,360		
	財源合計		3,597,630	3,298,650	1,504,360		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
創業支援セミナー開催数			事業の推進に関する指標	回	8	8	6
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
創業支援セミナー参加者数				人	68	0	50
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	地域産業の掘り起こしのため、商工会と連携し町内での創業や事業の発展・拡大を希望する事業者を支援し、町内産業の活性化を図る必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	4	様々な専門家によるセミナーを実施でき、幅広い知識を効率的に得ることが可能である。創業等に直結し類似性は低い。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	多様化する社会ニーズに合わせ、セミナー内容を見直し、伴走型に支援することで、希望者にあった支援が可能で、確実性が高い。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	町内での創業や事業拡大などを希望する事業者を対象とするため、公平性は確保されている。
令和6年度までの自己評価または改善点		令和5年度のセミナーや伴走支援、ビジネスマッチングを実施する中で、参加者のアンケートなどを参考にさらなるニーズの掘り起こしを行い、次年度につなげていく。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	(一社)100年企業創業協会に委託済
令和7年度の見直し及び改善予定	湯河原町創業支援等事業計画を策定したことで、セミナー受講者が特定創業支援等事業の支援として税制優遇や融資の活用が可能となり、より一層の創業ニーズの掘り起こしにつなげていく。	
令和8年度以降の方向性	引き続き、創業する事業者への支援を事業者や商工会と連携し取組みを推進していく。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	創業に対するニーズに対応する必要がある。
---------	----------	----------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

地方創生の観点からも有用

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	起業支援策として継続的に実施していく必要がある。
---------	----------	--------------------------

令和7年度事務事業評価シート

事業番号	3514	担当課等	観光課							
事務事業名	中小企業退職金共済掛金助成事業									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	平成2年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	Ⅱ 地域産業の振興	3 商業・サービス業	(1) 商業基盤の整備	②融資制度、利子補 給、制度の拡充				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	町内事業者の雇用の安定及び従業員の労働条件の向上を図る。								
対 象	町内商工業者								
内 容	退職金共済制度(中小企業退職金共済制度・特定退職金共済制度)に新規加入する事業者に対し、掛け金の一部を助成するもの(掛金の10%)								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)		
	事業費		530,240	484,496	629,000			
	人件費	常勤職員	206,640	210,805	221,452			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	206,640	210,805	221,452			
	総事業費		736,880	695,301	850,452			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		736,880	695,301	850,452			
	財源合計		736,880	695,301	850,452			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
助成事業所数			中小企業事業所への支援		社	25	29	30
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町内事業者の雇用の安定につながっている。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	町内事業者の安定につながっている。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	産業、工業の地域振興につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点		町内事業者の雇用の安定及び従業員の労働条件の向上が図られている	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和7年度の見直し及び改善予定	特になし	
令和8年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	雇用対策の観点からも有用
---------	----------	--------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

一次評価と同様

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

事業番号	3505	担当課等	観光課							
事務事業名	商工業振興事業補助金									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	2	目	2	事業開始年度	平成17年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	Ⅱ 地域産業の振興	3 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性 化と人材育成	① 商工業関連団体 間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	地域商工業の活性化を図る。								
対 象	町内商工業者								
内 容	地域商工業の活性化を図るため、次の事業に助成金を交付する。 ・産業祭等事業…地域産業の振興に寄与する産業祭。 ・商業振興事業…商店街連合会と協力し、商店の掘り起こしを図る。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		800,000	800,000	800,000		
	人件費	常勤職員	89,289	90,345	94,908		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	89,289	90,345	94,908		
	総事業費		889,289	890,345	894,908		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		889,289	890,345	894,908		
	財源合計		889,289	890,345	894,908		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
商工会会員数			補助対象	人	867	840	850
補助団体数			補助実績	団体	9	9	9
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
産業祭来場者数			地域産業の振興	人	3000	3000	3500
リフォームお助け隊相談数			工業の振興	件	34	31	30

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	観光客誘致事業など観光振興の発展に資するほか、技術者の発掘や育成指導など工業振興に資するため町で行う必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	産業祭には町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。リフォームお助け隊事業は隊員の増強による事業の充実が図られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	産業、工業の地域振興につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点		「産業祭」イベントが町民・観光客に対し、認知度が向上	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和7年度の見直し及び改善予定	特になし	
令和8年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成する必要がある。
---------	----------	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

補助金の妥当性を常に検証していく必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

事業番号	3509	担当課等	観光課							
事務事業名	商店街振興事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	2	目	2	事業開始年度	平成20年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	3 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	地域商工業の活性化を図る。								
対象	町内商工業者								
内容	地域商工業の活性化を図るため、次の事業に助成金を交付する。 ・商店街連合会振興事業…商店街連合会が主催するイベント等。 ・地域商業活性化事業…地域商店街の活性化を目的とした商品券を発行。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		7,796,385	4,969,810	10,340,000		
	人件費	常勤職員	89,289	90,345	94,908		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	89,289	90,345	94,908		
	総事業費		7,885,674	5,060,155	10,434,908		
財源内訳	国庫支出金				8,000,000		
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		7,885,674	5,060,155	2,434,908		
	財源合計		7,885,674	5,060,155	10,434,908		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
商工会会員数			補助対象	人	867	840	850
補助団体数			補助実績	団体	9	9	9
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
取扱店舗数			商工業の振興	店	334	323	330
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	観光客誘致事業など観光振興の発展に資するほか、技術者の発掘や育成指導など工業振興に資するため町で行う必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	イベントには町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。 また、参加店の活性化が図られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	産業、工業の地域振興につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点	・インターネット受付予約を開始することにより、申込手続きが簡略化し、多くの利用者の評判が良かった半面、一部、高齢者の対応のため、紙での受付対応も実施した。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和7年度の見直し及び改善予定	特になし	
令和8年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成する必要がある。
---------	----------	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

費用対効果を検証していく必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

事業番号	12687	担当課等	観光課					
事務事業名	地場産品販売促進事業							
予算科目コード	会計		款		項	目	事業開始年度	平成3年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	5 農業	(2) 農業経営の高度 化の促進	⑧都市・直売化の促進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○						
目 的	豊島区池袋の「イケ・サンパーク」で開催されるファーマーズマーケットなどに町内の地場産品を出品し、販売促進を図る								
対 象	ファーマーズマーケット来場者								
内 容	地場産品の販売促進及び湯河原町のPR								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費		1,311,475		2,000,000		1,300,000	
	人件費	常勤職員	295,200		301,150		316,360	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	295,200		301,150		316,360	
	総事業費		1,606,675		2,301,150		1,616,360	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,606,675		2,301,150		1,616,360	
	財源合計		1,606,675		2,301,150		1,616,360	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
出店回数			成果を直接的にはかる指標である		回	50	54	50
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	地場産品の出品に併せ、町のPRとしてチラシなども配布しておりPRも兼ねていることから実施する必要性は高い。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	天候に左右されるが、季節の柑橘など好評で湯河原温泉と柑橘を結びつけるなど、販売促進とPRを同時に実施することができ効率的である。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	文化交流都市として、湯河原と豊島区がつながっているという背景を活用した取組みで有効性が高い。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点		天候に左右されるが、柑橘など出店品目は好評で、湯河原町のPRが進んでいる。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	実施済
令和7年度の見直し及び改善予定	イケサンパーク以外でも本町の魅力をPR出来る出店を検討する。	
令和8年度以降の方向性	イケサンパーク以外でも本町の魅力をPR出来るイベントなどに出演し、積極的な出店による販売促進と魅力の発信を行う。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

効果検証を行う必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	効果検証を行う必要がある。
---------	----------	---------------

令和7年度事務事業評価シート

事業番号	14313	担当課等	観光課							
事務事業名	新たな温泉資源活用事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅳ 地方創生の推進	1 地方創生	(2) 移住の促進	① 観光イベント・施設情報の発信				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	新たな温泉資源の活用として、本町の温泉を使用したクラフト温泉の開発及び商品化を行い、その商品PRや次年度以降の流通等を確立させるもの。								
対 象	住民及び観光客								
内 容	・クラフト温泉の開発、サンプル品の作成 ・クラフト温泉のプロモーション								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	常勤職員	595,260	421,610	316,360	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	595,260	421,610	316,360	
		総事業費	14,595,260	13,421,610	3,316,360	
財源内訳		国庫支出金	7,000,000	6,500,000	0	
		県支出金	6,920,000	3,609,000		
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	675,260	3,312,610	3,316,360	
		財源合計	14,595,260	13,421,610	3,316,360	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
プロモーション(イベント等)		事業実績の指標となる	回	1	2	2
プロモーション(SNS)		事業実績の指標となる	回	4	5	5
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		観光客増加の指標となる	千人	3914	4056	4000
販売実績		事業実績の指標となる	個	468	869	1000

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	新たな温泉資源の活用として、本町の温泉を使用したクラフト温泉のプロモーションについて、町が先頭に立ち事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	新たな温泉資源の活用として、クラフト温泉のプロモーションについては、独自性が高く、町と観光協会が連携することで効率的な取組みが可能となる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	温泉を観光資源とする本町に合った事業であり、本町がターゲットとする女性層にリーチする事業である。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	湯河原温泉の知名度向上や温泉街としてのプロモーションを行っているため、公平性は高い。
令和6年度までの自己評価または改善点		これまでのプロモーションによりお試しサイズである100mlのニーズを把握したため、令和5年度に商品化し、より一層の販売促進を図った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	クラフト温泉の製造には特許技術を持った事業者が行う必要があり、また、プロモーションにおいても、若年層に情報を届ける事業者に委託する必要がある。
令和7年度の見直し及び改善予定	町内でより商品を広く周知するため、旅館やホテル、商店などでクラフト温泉を扱ってもらおう、取り組む必要がある。	
令和8年度以降の方向性	オンラインでの購入や町内での販売を増加させるとともに、ふるさと納税の返礼品としても多くの注文が出るよう、プロモーションを推進していく。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

実施主体のすみ分けを明確化する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	より強力なPRが必要である。
------	----------	----------------